

# 平成15年のサンマ漁場形成

福島県水産試験場海洋漁業部  
平成15年度福島県水産試験場事業報告書

## 1 部門名

水産業－海洋生産－サンマ  
分類コード 19-01-31000000

## 2 担当者

水野拓治

## 3 要旨

サンマ標本漁船5隻(総トン数166～153トン)の操業状況記録等から漁場形成等を整理した。

- (1) 平成15年の全国のサンマ漁獲量(棒受網)は約26万トンであり、昨年比127%であった。
- (2) 棒受網大型船(40トン以上)の漁場は、漁期当初は、千島列島沿いに形成された。漁期の進行に伴う漁場の南下は昨年よりも早く、9月には道東、八戸沖に、10月から11月には道東沖から三陸、常磐沖に漁場が形成され、12月上旬に常磐海域で終漁した。
- (3) 1隻当たり航海数は33.4(平成14年は39.6)、1航海当たり航海日数は2.8日(平成14年は3.0日)、1航海当たり操業回数は18.4回(平成14年は15.9回)、1隻平均延べ漁獲量は1,880トン(平成11年は1,234トン)、1航海当たり漁獲量は56.3トン(平成14年は31.2トン)であった。1網当たりの漁獲量は3.1トン(平成14年は2.0トン)であり、日本沿岸南下群の資源豊度が高かったことがうかがわれた。

## 4 その他の資料等

なし